

ながのNIEだより

2025年12月

第43号



発行 長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会 【事務局】〒380-8546 長野市南県町657 信濃毎日新聞読者センター内
電話 (026) 236-3480 ファクス (026) 236-3193 Eメール nie@shinanoji.net



記事の書き換えを体験し、気づいたことを共有する参加者

26~27年度指定校を募集

長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会(会長:篠崎正典・信州大教育学部准教授)は12月23日まで、県内の小中学校・高校を対象に2026年度から2年間のNIE研究指定校を募集しています。NIEは学習指導要領が求める「思考力、判断力、表現力」の育成などに役立ちます。また、一人一人の能力や特性に応じた「個別最適な学び」に

12月23日まで
小中高計6校

長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会(会長:篠崎正典・信州大教育学部准教授)は12月23日まで、県内の小中学校・高校を対象に2026年度から2年間のNIE研究指定校を募集しています。NIEは学習指導要領が求める「思考力、判断力、表現力」の育成などに役立ちます。また、一人一人の能力や特性に応じた「個別最適な学び」に

福田さんは1年生記事書き換えをしました。講演では、日本で暮らす外国人の「やさしい日本語」での增加などをデータで

福田さん「多文化共生を意識づけ」

紹介。「生徒には、多文化共生・国際理解を意識づけるよう心がけた」と狙いを話しました。

この科目では年間を通じて新聞を活用。

参加者「『相手の靴を履く』経験に」

ワークショップでない」「基本的にやさしい言葉を使う」といったポイントを解説。例を挙げながら「文を長くしない」「言葉を省略し

手の靴を履く」経験は子どもたちにも必要。「やさしい日本語」を必要とする人がいることを知らせたい」との声が上がりました。

長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会は11月22日、第19回県NIEセミナーを松本市の信毎メディアガーデンで開きました。新聞記事を外国人にも伝わりやすい「やさしい日本語」で書き換える学習がテーマ。兵庫県立伊川谷高校(神戸市)主幹教諭の福田浩三さんによる講演、長野県地域日本語教育コーディネーター(中信担当)の一氏隼人さんによるワーキングセッションがあり、小中高校の教員ら25人が参加しました。

「やさしい日本語」テーマに講演と体験

松本で第19回県NIEセミナー

「伝えたいこと」を突き詰める

する」と段階を踏んでいます。生徒は、感想文を書くために選んで読み込んだ記語」で書き換えました。福田さんは「イベント告知記事の場合、会場名を検索できる用について「記事の読み込みが生徒にとつて大切な。かつファクトチェックされた情報である」と話しました。

福田さんは新聞活用について「記事の読み込みが生徒にとつて大切な。かつファクトチェックされた情報である」と話しました。福田さんは「イベント告知記事の場合、会場名を検索できるよう、省略や書き換えをしない」などと「記事を読み解く」「校内行事の感想を『はがき新聞』で表現する」「新聞感想文コンクールに応募